

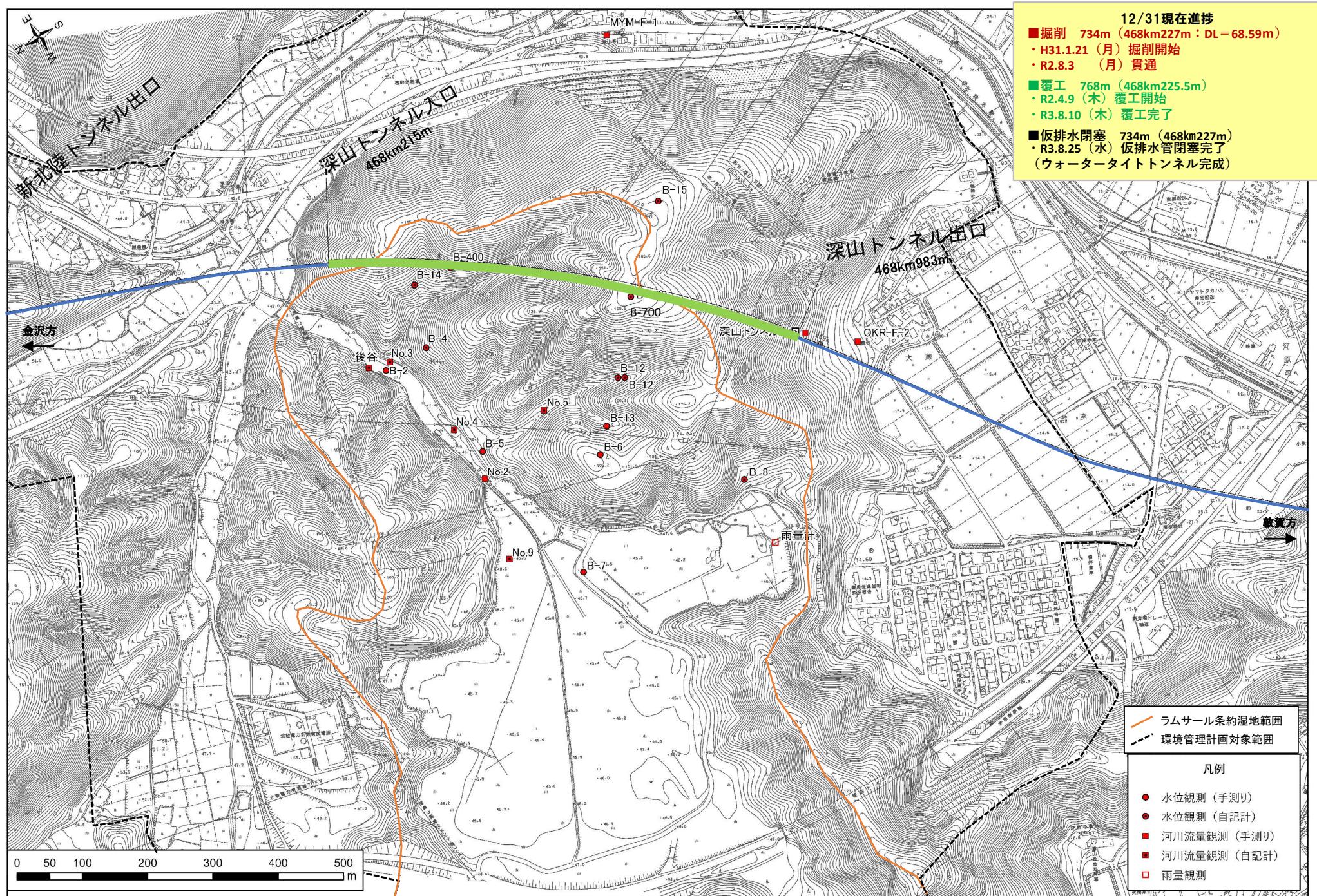
# 深山トンネル水文調査モニタリング報告書

調査期間：令和7年12月1日（月）～令和7年12月31日（水）

「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。

# 水文環境モニタリング報告 令和7年12月1日(月)～令和7年12月31日(水)

No.1

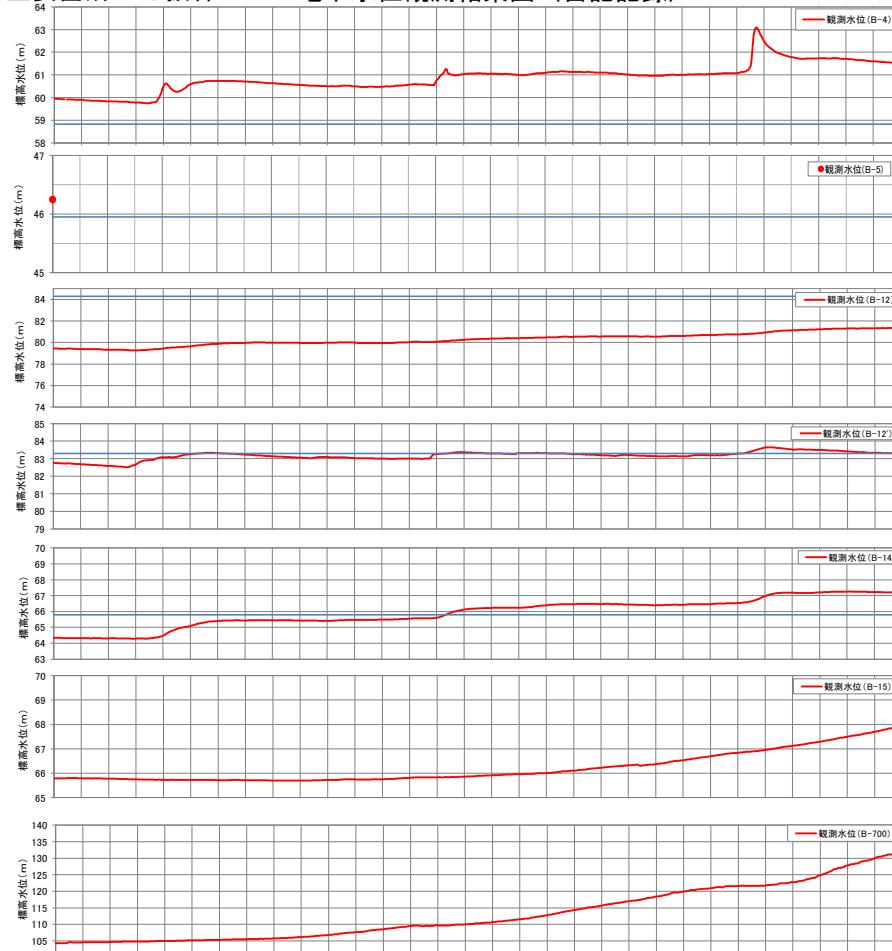


# 水文環境モニタリング報告 令和7年12月1日(月)～令和7年12月31日(水)

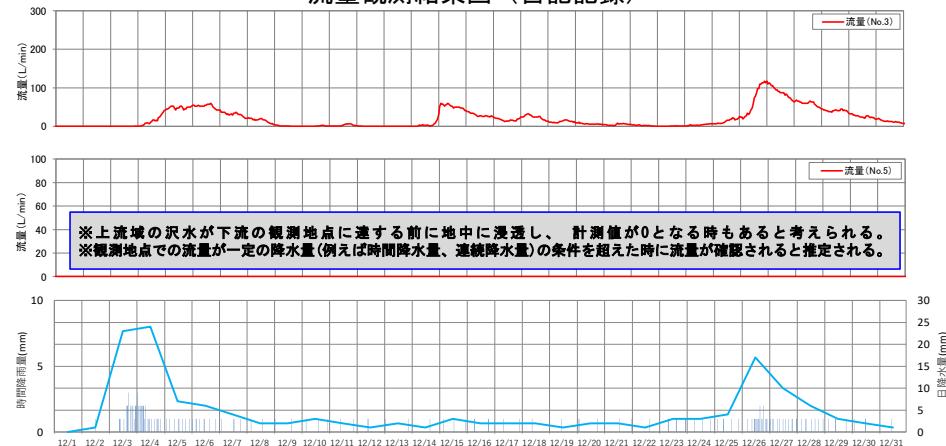
No.2

※主要箇所のみ抜粋

地下水位観測結果図 (自記記録)



流量観測結果図 (自記記録)



## 全体総括

- 目立った変動なし  やや変動あり
- 変動あり (注意体制への移行を検討)

## 期間中の地下水位低下量

- 1m未満ないし増加: B-2、B-4、B-5、B-6、B-7、B-8、B-12、B-12'、B-13、B-14、B-15、B-400
- 2m未満:  5m未満: B-700  5m以上:

## 日降水量

- 15mm未満  15mm以上  50mm以上

## 月降水量

- 80mm未満  80mm以上  130mm以上  200mm以上

## 概要

### ■水位変動について

- ①目立った変動なし。
- ②B-4 (自記水位計): 期間中の水位は降水に明瞭な反応を示す箇所が認められる。また、水位は上昇傾向である。
- ③B-5 (手計り): 過年度最低水位を上回っている。
- ④B-12 (自記水位計): 期間中の水位は降水に反応を示す箇所が認められる。過年度最低水位を下回る状況が認められるため、今後も注視していく。
- ⑤B-12' (自記水位計): 期間中の水位は降水に反応を示す箇所が認められる。過年度最低水位を下回る状況が認められるため、今後も注視していく。
- ⑥B-14 (自記水位計): 期間中の水位は降水に反応を示す箇所が認められる。降水により水位が上昇し、過年度水位を上回った。
- ⑦B-15 (自記水位計): 期間中の水位は上昇傾向である。
- ⑧B-700 (自記水位計): 期間中の水位は降水に反応を示す箇所が認められる。また、水位は上昇傾向である。

### ■流量変動について

- ①No. 3 (自記): 期間中の流量は降水に明瞭な反応を示し、増加する。
- ②No. 5 (自記): 期間中の流量は0l/minの状態が続く。  
⇒無降水・少雨時や大雨の数日後において、当該地点の上流域の沢水は観測地点に達する前に地中に浸透することで、流量の計測値がゼロとなっている状況である。  
⇒当該地点の上流域で一定の降水量の条件(例えば時間降水量、連続降水量)を満たした時に観測地点で流量が確認されると推定される。

### ■降水量について

- ①11月の日最大降水量: 11/18の43.0mmである。  
⇒12月の日最大降水量: 12/4の24.0mmである。
- ②11月の降水量: 188.0mm、12月の降水量: 142.0mmである。  
昨年11月は204.0mm、12月は406.0mmである。  
平年値(敦賀アメダス)は11月は176mm、12月は316.7mmである。